

**平成 29 年度**  
**9 月補正予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**



# 目 次

## (総務部)

新規	同報無線音声応答装置設置事業	1
----	----------------	---

## (企画部)

新規	宇宙物理学研究紹介展示施設名称募集等事業	2
拡充	神岡橋梁安全対策事業	3

## (市民福祉部)

新規	国民健康保険制度改革対策事業	4
拡充	買い物弱者支援事業	5
新規	障がい者施設整備費補助事業	6

## (環境水道部)

拡充	清掃施設整備事業基金積立金	7
----	---------------	---

## (農林部)

拡充	広葉樹資源利用調査・検討事業（意向調査アンケート）	8
新規	飛騨猟友会射撃場整備補助事業	9

## (商工観光部)

新規	外国人技能実習生雇用支援事業	10
新規	郷土工芸品産業技術後継者育成事業	11
新規	道の駅振興補助事業	12
拡充	飛騨古川まつり会館施設改修事業	13
拡充	「駅前観光案内所トイレ」ユニバーサル化事業	14

## (基盤整備部)

拡充	住宅等耐震化促進事業	15
----	------------	----

## (教育委員会事務局)

新規	神岡小学校外壁等調査事業	16
----	--------------	----

## 新規 同報無線音声応答装置設置事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
2,261	一般財源	工事請負費
	2,261	2,261

（現計予算 0 ）

### 2 事業背景・目的

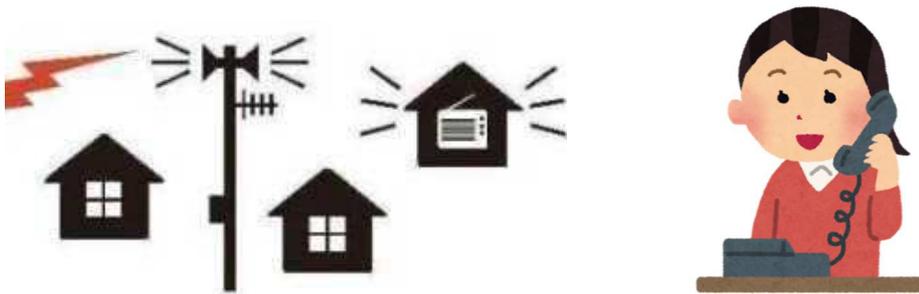
同報無線は、日常生活に密着した情報伝達や市の広報活動に広く活用されていますが、気象の影響、音の反響、外出等で内容を確認できなかった場合は、現在の装置では内容を再び確認する手段がなく、市民への情報伝達が十分に実施できない場合があります。

本事業により同報無線音声応答装置を設置し、日常生活に係る情報や被災時の緊急性を伴う情報等をいつでも電話回線により確実に把握できる体制を整備します。

### 3 事業概要

同報無線を聞き漏らした場合や再度内容を確認したい場合に、電話による軽易な操作で放送内容を確実に把握できるようになります。

- ・放送された同報無線放送を電話回線により再度確認できます。
- ・最新分から合計20回分の録音が可能で、およそ1日家を留守にしても振り返って確認できます。



(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 11 防災諸費	
所 属	総務部 危機管理課	TEL 0577-62-8902	

# 新規 宇宙物理学研究紹介展示施設名称募集等事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
354	一般財源	手数料 354

(現計予算 0 )

## 2 事業背景・目的

道の駅「宙(スカイ)ドーム」内に整備する宇宙物理学研究紹介展示施設については、東京大学宇宙線研究所等の協力のもと、宇宙物理学最先端の町を広く発信するための拠点として、本年7月より整備事業に着手し、平成30年度末の完成を目指しています。

施設の名称は、宇宙物理学のメッカとしての飛騨市を印象付ける重要な要素であることから一般公募することとし、その選定過程も情報発信していくことで施設への期待感を高め、全国からの誘客を促します。

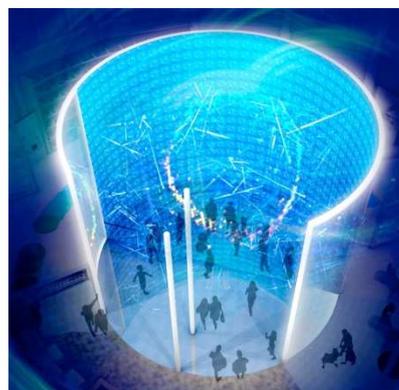
また、名称及びロゴマークを作成・商標登録した上で、それらを活用したPR活動を展開するとともに、施設でしか手に入らない関連グッズや宇宙物理学最先端の町を訪れた方々への魅力的な土産品などの商品開発に繋げ、施設の付加価値を向上させるとともに地域経済の活性化を目指します。

## 3 事業概要

新たな施設の名称は、一般公募を行い市民投票を経て決定し、併せて名称に合わせたロゴマークの作成及び商標登録を行います。

### 今後のスケジュール

8月	選考委員会設置
9月	名称公募開始
10月	第1回選考委員会(数案程度を選考)
11月	市民投票
11月	第2回選考委員会(最終決定)
12月	ロゴ作成
1月	商標登録申請
3月	商標登録完了



展示施設イメージ(一部)

(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 6 企画費
所属	企画部 地域振興課	TEL 0577-62-8904

## **拡充 神岡橋梁安全対策事業**

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
17,125	一般財源	17,125
		工事請負費
		17,125

(現計予算 43,700 )

### 2 事業背景・目的

飛騨市ロスト・ライン・パーク内においてレールマウンテンバイクが運行している区間(まちなかコース)にある神岡橋梁については、現在、老朽化した部分の剥落による落下等による第三者被害を防止するため安全対策工事を実施しています。今回、更に第三者被害の防止に必要な対策を継続して実施します。

今後により安全にレールマウンテンバイクが運行できるよう、対策工事の年内完成を目指します。

### 3 事業概要

○対象橋梁

橋梁名：神岡橋梁 (1966年3月竣工)

橋 長：L=121.44m



工事対象の神岡橋梁

○工事概要

【当初】橋梁補修工

- ・ ひび割れ補修工 L=28m
- ・ 剥落防止工 L=185m<sup>2</sup>
- ・ 支承補修工 N=9箇所
- ・ 補修用仮設工 一式

【補正】橋梁撤去工

- ・ 張出床版(管理用通路)撤去工 L=43.9m
- ・ 撤去用仮設工 一式

(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 12 鉄道対策費
所 属	企画部 地域振興課	Tel.0577-62-8904

## **新規 国民健康保険制度改革対策事業**

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な用途】
200,000	一般財源 200,000	繰出金 200,000
(現計予算 0 )		

### 2 事業背景・目的

飛騨市国民健康保険は、加入世帯の約64%が保険料の軽減対象世帯であるという構造的な課題を抱え、1人あたりの保険料は約76,000円と県下最低水準にあります。

平成30年度以降、医療費の給付が広域化され、県が保険者となって財政運営の中心的な役割を担うこととなりますが、この制度改革に伴い、県から納付を求められる標準保険料は1人あたり約126,000円と試算されており、被保険者の負担増は避けられない状況となっています。

このため、生活弱者の急激な負担増を避けるため、県の激変緩和措置が期待できる平成34年度までの5年間で保険料を緩やかに引上げることとし、これによって生じる納入金の不足を補うための財源として、国保財政調整基金に2億円を積み立てます。

### 3 事業概要

#### ○国民健康保険財政調整基金の増資

一般会計から2億円を国民健康保険特別会計に繰り出し、国保財政調整基金の増資を行い、県に納める納入金の不足を補てんするための財源に充てます。



(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 1 社会福祉総務費
所 属	市民福祉部 市民保健課	Tel.0577-73-7464

## **拡充 買い物弱者支援事業**

<b>1 事業費 (単位：千円)</b>	<b>【財源内訳】</b>	<b>【主な使途】</b>
<b>4,100</b>	一般財源	4,100
	補助金	4,100
(現計予算 5,400 )		

### 2 事業背景・目的

J Aひだの支店、営業所の統廃合により平成30年2月で生活物資販売部門が大幅に縮小することが明らかとなり、買い物弱者の増加が懸念される中、その打開策として移動販売の必要性がますます高まっています。

移動販売は全国各地で行われていますが、行政の支援は初期投資に限られているところが多く、事業の採算が取れずに撤退する事例も見受けられます。このような中、当市では買い物弱者対策として初期投資だけでなく運行経費に対する支援も行うことで、継続した事業運営をサポートしてきました。

今般明らかになった昨年度の各事業者の実績によると、冷蔵設備を積載する車輛の特殊性からタイヤの著しい磨耗や燃費効率の悪さ、高額な自動車保険料が事業者の大きな負担となっていることが分かりました。そこで、これらの経費への助成を拡充し、今後も継続した事業運営を促進することで、市民がいつでも安心して買い物のできる環境をつくりま

### 3 事業概要

#### ①事業者運行経費の助成の拡充 (3,100千円)

- ・対象車輛 : 6台
- ・対象経費 : 修繕料 ⇒ 消耗品費 (タイヤ等) を追加
- 車検費用 ⇒ 任意保険料を追加
- 燃料費 (20円/km) ⇒ 40円/kmに拡充
- 人件費 (1,000円/2h) ⇒ 1,000円/hに拡充
- ・補助率 : 1/3 (上限40万円) ⇒ 1/2 (上限100万円) に拡充

#### ②車輛購入費の助成 (1,000千円)

新たな移動販売参入事業者に対する車輛購入費の助成を追加

(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 3 老人福祉費	
所 属	市民福祉部 地域包括ケア課	TEL0577-73-6233	

## **新規** 障がい者施設整備費補助事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
6,823	過疎債	6,800	補助金	6,823
	一般財源	23		
(現計予算 31,160 )				

### 2 事業背景・目的

社会福祉法人飛騨慈光会が運営する12ヶ所のグループホームは、民家を改修した施設であることから、バリアフリー対策が万全でなく、防災面や安全面から利用者が限定されていました。そこで飛騨慈光会では、高齢者や重度の障がいがある方でも安心して利用できる環境づくりを目指し、バリアフリー対策とあわせ、24時間の支援が可能な職員を配置できる施設を新たに建設することになりました。

同施設は飛騨市内の障がいのある方の利用も見込まれることを踏まえ、障がい者に対する生涯にわたる社会生活の支援と生活の場の確保のため、圏域の飛騨市、高山市、下呂市、白川村が一体となり整備事業費の一部を支援することで、誰もが安心して生活できる地域を目指します。

### 3 事業概要

#### ○社会福祉法人飛騨慈光会 障がい者グループホーム新築整備費補助金

- ・ 建築場所 : 高山市国府町宇津江字塚田 1806-1
- ・ 内 容 : 定員 20 名 (男性棟 7 名、重度者棟 7 名、女性棟 6 名)、  
ショートステイ 1 室、体験利用の部屋 1 室
- ・ 総事業費 : 294,627千円
- ・ 財源内訳 : 国等補助 82,848千円  
市村補助 51,666千円  
自己財源 160,113千円

※市村補助のうち3市1村負担額

国庫補助と同額を市村補助とし、1/2を高山市が負担。残りを旧19町村で按分(均等割3/10、人口割7/10)

高山市	35,065千円 (67.9%)
下呂市	9,025千円 (17.5%)
飛騨市	6,823千円 (13.2%)
白川村	753千円 (1.4%)

(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 7 社会福祉施設費	
所 属	市民福祉部 障がい福祉課	TEL0577-73-7483	

## **拡充 清掃施設整備事業基金積立金**

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
60,000	一般財源      60,000	積立金              60,000

(現計予算      16,000 )

### 2 事業背景・目的

飛騨市クリーンセンターでは、ごみ焼却に伴う環境への影響を最小限に抑えることを第一目標に掲げ、常に安全で安心な施設の運営を行っています。平成28年度には、長期的に安定した設備維持を目的として、プラントメーカー及び技術指導者（全国都市清掃会議）との綿密な協議に基づき平成44年度までの長期保全計画を策定し、今後16年間で約15億円の点検・修繕費用が必要であると見込んでいます。

そこで、将来的に財政運営の厳しさが増すと予想される中、年度間の財政負担の平準化と事業財源の確保を図るため、平成28年度に創設した「清掃施設整備事業基金」に計画的に積み立てを行い、安全・安心な施設運営のための予防的保全に備えます。

### 3 事業概要

#### ○清掃施設整備事業基金への積み立て

施設の長期保全計画に必要な点検・修繕費用に充てるための基金として、平成32年度までに約2億円の造成を見込んでおり、計画的に基金の増額を図ります。

(今回積み立て後の清掃施設整備事業基金残高見込 93,000千円)



飛騨市クリーンセンター

(款) 4 衛生費	(項) 2 清掃費	(目) 2 じん芥処理費
所 属	環境水道部 環境課	TEL 0577-73-7482

## 【拡充】 広葉樹資源利用調査・検討事業（意向調査アンケート）

<b>1 事業費</b> （単位：千円）		<b>【財源内訳】</b>		<b>【主な使途】</b>	
	2,000	一般財源	2,000	委託料	2,000
	（現計予算 1,584 ）				

### 2 事業背景・目的

市は昨年度から市内森林に豊富に存在する広葉樹を地域の重要な資源と位置付け、様々な分野でその活用を図る「広葉樹のまちづくり」を本格化させました。

こうした取り組みをさらに具体化していくためには、林業関係者だけでなく幅広い市民の意向を踏まえる必要があることから、森林に対する市民の期待や要望を把握するため、市内全世帯を対象としたアンケート調査を実施し、市内森林資源の有効活用につなげます。

### 3 事業概要

#### ①アンケート調査の実施

飛騨市の森林に対する意向や期待などの把握を目的として、市内全世帯を対象としたアンケート調査を実施します。

アンケートは行政区長及び自治会長等を通じて配布し、郵送にて回収します。

#### ②アンケート結果の取りまとめと分析

アンケート結果は回答者の属性に応じてクロス集計を行い、市内森林の活用・整備に関する課題抽出と解決に向けた取り組みの方向性を分析します。分析結果は新たに設置する「飛騨市森林配置・活用推進円卓会議」における検討に活用するなどして、飛騨市森林整備計画等に反映させていきます。

なお、アンケート結果を基に、現在、国が制度創設を進めている森林環境税の活用方針も併せて検討していきます。

(款) 6 農林水産業費	(項) 2 林業費	(目) 2 林業振興費
所 属	農林部 林業振興課	TEL 0577-62-8905

## **新規 飛騨猟友会射撃場整備補助事業**

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
15,035	一般財源	補助金
	15,035	15,035
(現計予算 0 )		

### 2 事業背景・目的

高山市片野町にある現射撃場は、安全狩猟及び有害鳥獣駆除の技能向上に欠かすことのできない施設として（一社）飛騨猟友会が管理運営を行っています。しかし、施設の老朽化、周辺の宅地化のほか、教習射撃場としての認定要件を満たしていないことから、新たな射撃場の建設が長年の懸案事項となっていました。

今年度、飛騨猟友会が国県の補助を受け新たな「教習射撃場」を建設することとなり、その建設にあたり飛騨地域2市1村（飛騨市、高山市、白川村）も一体となって整備費の一部を支援することで、飛騨圏域の狩猟及び有害鳥獣駆除の技術向上と有害鳥獣捕獲体制の強化を図ります。

### 3 事業概要

#### ○飛騨猟友会教習射撃場の建設

- ・事業実施主体 : 一般社団法人 飛騨猟友会
- ・計画場所 : 高山市久々野町辻及び朝日町見座地内
- ・計画内容 : トラップ射面、スキート射面、ライフルコース各1面、  
教習・事務所棟1棟、射撃機械等一式
- ・総事業費 : 253,046千円
- ・財源内訳 : 国等補助 180,962千円 (75%)  
市村補助 61,193千円 (20%)  
自己財源 10,891千円 (5%)

※市村補助のうち2市1村負担額

均等割0.1、人口割0.45、有害鳥獣捕獲許可件数割0.45の比率で按分

高山市	41,036千円 (67.0%)
飛騨市	15,035千円 (24.6%)
白川村	5,122千円 (8.4%)

(款) 6 農林水産業費	(項) 2 林業費	(目) 2 林業振興費
所 属	農林部 林業振興課	TEL0577-62-8905

## **新規** 外国人技能実習生雇用支援事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
960	一般財源	960
		補助金 400
		広告料 100
		その他 460
(現計予算 0 )		

### 2 事業背景・目的

人口減少に伴う労働力不足が全国的に問題となるなか、市内事業者では外国人技能実習制度を活用する取り組みが増えています。

実習生は、事前に日本語教育を受講してきますが、短期間の学習では十分な会話が行えないことから、仕事現場での細かな作業説明や病気の時など、どうしても自国語での対応が必要な時に通訳が欠かせないとの声が寄せられています。そこで、事業所の業務効率アップと研修生の不安を解消させることを目的に、外国人を雇用する事業所に対して通訳派遣に対するサポートを行うとともに、通訳に要する費用の一部を助成します。

また、実習生の日本語学習等の支援や実習生同士の交流を深める場を設けることで、安心して仕事に取り組んでいただける環境をつくります。

### 3 事業概要

#### ①外国人技能実習生のための通訳支援事業 (500千円)

【通訳派遣補助】(400千円)

事業所が通訳派遣を受ける際に必要となる経費に対して助成を行います。

・補助率 1/2 (1ヶ月につき2回まで 1回当たりの補助限度額1万円)

【通訳紹介】(100千円)

市が広告等を活用して通訳者の募集を行い、各事業所へ情報を提供します。

#### ②日本語学習と飛騨の生活文化教室開催事業 (270千円)

外国人技能実習生の更なる日本語学習と、日常の生活様式を学習する場を、事業所毎に月1回程度設けます。(12月からの開始を予定)

#### ③外国人技能実習生交流事業 (190千円)

事業所に勤める実習生同士の交流を深めるため、昼食を兼ねた交流会を行います。

(款) 5 労働費	(項) 1 労働諸費	(目) 1 労働諸費	
所 属	商工観光部 商工課	TEL 0577-62-8901	

## **新規** 郷土工芸品産業技術後継者育成事業

<b>1 事業費</b> (単位：千円)		<b>【財源内訳】</b>		<b>【主な使途】</b>	
	750	一般財源	750	補助金	750

(現計予算 0 )

### 2 事業背景・目的

飛騨市には伝統ある郷土工芸品が数多く存在し、長年地域産業を支えてきました。しかし、職人の高齢化や後継者不足からやむなく廃業され、途絶えてしまった工芸品も多くあり、伝統文化の継承、発展は喫緊の課題となっています。

このような中、古川町内で飛騨の祭りに欠かすことのできない「提灯」の製法を学び、数年前に廃業された「提灯づくり」の復活に向け取り組んでいる方がおられることから、この取り組みを支援し、一度途絶えてしまった郷土工芸品産業の復活と、地域産業の更なる発展を目指します。

### 3 事業概要

#### ○指導者と見習い者への支援

「飛騨古川提灯」の復活に向けた取り組みを支援します。

「郷土工芸品産業技術後継者育成奨励金」

- ・指導者 月5万円
- ・見習い者 月10万円

ただし、支援期間は2年間とします。



(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 2 商工振興費
所 属	商工観光部 商工課	TEL 0577-62-8901

## 新規 道の駅振興補助事業

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
4,000	一般財源	補助金
	4,000	4,000

(現計予算 0 )

### 2 事業背景・目的

市内には3ヶ所の道の駅があり、それぞれが情報発信や地域振興施設としての機能を有しています。そのうち「道の駅アルプ飛騨古川」と「道の駅飛騨古川いぶし」の2ヶ所の民間施設は、それぞれが市の玄関口に位置し、観光誘客や市のイメージアップなど大変重要な役割を担っていますが、施設内の店舗の撤退や老朽化などから地域振興施設として十分な機能が発揮されていません。

立地条件を活かした施設の機能強化と観光誘客を図るため、民間事業者が運営する道の駅に対する設備改修費用やイベント開催経費等に支援を行い、常に賑わいをもたらす施設を目指します。

### 3 事業概要

#### ○道の駅振興補助金

- ・補助率 : 市が必要と認める費用の2分の1
- ・補助対象経費 : 建物設備改修費、イベント開催・情報発信経費
- ・事業費限度額 : ハード事業 1,000万円 (下限100万円)  
ソフト事業 100万円 (下限 10万円)
- ・対象施設 : 道の駅アルプ飛騨古川、道の駅飛騨古川いぶし

※今回の補正予算においては、ハード事業350万円、ソフト事業50万円を計上



道の駅アルプ飛騨古川



道の駅飛騨古川いぶし

(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 2 商工振興費	
所 属	商工観光部 商工課	TEL 0577-62-8901	

## **拡充 飛騨古川まつり会館施設改修事業**

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】				
7,636	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">県支出金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">3,800</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">3,836</td> </tr> </table>	県支出金	3,800	一般財源	3,836	工事請負費 7,636
県支出金	3,800					
一般財源	3,836					
(現計予算 38,995 )						

### 2 事業背景・目的

古川祭のユネスコ無形文化遺産登録を契機とし更なる観光誘客を図るため、「飛騨古川まつり会館」映像ホールで上映される映像を新たに撮影し、4K映像対応機器への更新を進めていますが、現在の映像ホールはスペースが限られていることから、座席の間隔が狭く、外国人観光客など体の大きな方には非常に窮屈な状態となっています。そこで、県の補助制度を活用し、来館される観光客の方に快適にご覧いただけるよう座席の一部を改修します。また、施設内のレストランにある冷房設備が故障しているため、併せて更新し、快適に利用できる施設を目指します。

### 3 事業概要

#### ①映像ホール座席改修工事 (1,836千円)

映像ホール中央の固定座席一列を撤去し、ベンチ型の広いスペースとすることで、外国人の方でも座りやすい座席を確保します。また、手すりを設置して安全面も考慮した設計とします。

#### ②レストラン冷房設備設置工事 (5,800千円)

施設内にあるレストランの冷房設備を更新します。



飛騨古川まつり会館

(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費
所 属	商工観光部 観光課	TEL 0577-73-7463

## 拡充 「駅前観光案内所トイレ」ユニバーサル化事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,300	国庫支出金	664	工事請負費	1,300
	一般財源	636		
(現計予算 1,861 )				

### 2 事業背景・目的

市では観光に来ていただいた体の不自由な方や外国人にも安心してご利用いただけるよう公衆トイレの洋式化、ユニバーサル化を進めています。

本年度実施する駅前観光案内所トイレの完全洋式化にあわせ、ユニバーサルベットを設置し、より安心して観光を楽しんでいただけるよう、一層の機能充実を図ります。

### 3 事業概要

トイレの洋式化に加え、多目的トイレ内にユニバーサルベットを設置します。また、工事期間中の仮設トイレを設置します。



(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費
所 属	商工観光部 観光課	TEL.0577-73-7463

## 拡充 住宅等耐震化促進事業

<b>1 事業費（単位：千円）</b>	<b>【財源内訳】</b>	<b>【主な使途】</b>
<b>3,344</b>	国庫支出金      1,122 県支出金          1,111 一般財源          1,111	補助金              3,344
（現計予算      8,658   ）		

### 2 事業背景・目的

平成25年11月に施行された耐震改修促進法の改正にともない、緊急輸送道路沿道において地震による倒壊で通行障害が生じる建築物について、耐震診断が義務化されました。

本年4月に1次緊急輸送道路である国道41号沿道の対象建築物が指定され、診断の実施及び結果の報告が義務付けされたことから、耐震診断実施を表明された方への補助を行い、対象建築物の耐震化を促すことで、緊急輸送道路の通行障害を未然に防ぐための取り組みを実施します。

### 3 事業概要

#### ○建築物等耐震化促進事業補助金

- ・補助対象者   ： 緊急輸送道路沿道で耐震診断義務がある建築物所有者
- ・補助率       ： 100%（補助要件あり）
- ・限度額       ： 3,600円／㎡×延床面積(㎡)＋154万円



※ 耐震診断義務がある建築物とは昭和56年5月末以前の旧基準建築物で、倒壊時に道路の過半以上を閉塞する恐れがあるもの

(款) 8 土木費	(項) 5 住宅費	(目) 2 住宅対策費
所 属	基盤整備部 都市整備課	Tel.0577-73-0153

## 新規 神岡小学校外壁等調査事業

<b>1 事業費</b> (単位：千円)		<b>【財源内訳】</b>		<b>【主な使途】</b>	
	2,100	一般財源	2,100	委託料	2,100
(現計予算	0	)			

### 2 事業背景・目的

神岡小学校は昭和61年3月の建築から30年以上が経過し、経年劣化により校舎の外壁は崩落や塗装の剥がれが目立ち、屋根材は破損箇所からの雨漏りが見受けられます。

児童が安心安全に学校生活を送ることができるよう、施設の改修を進めると同時に校舎の適正管理を図ります。

### 3 事業概要

#### ○調査測量設計委託

高所作業車を用いて外壁や屋根の状況を調査し、最適な工法等を検討のうえ、実施設計を行います。設計の結果を基礎資料とし、平成30年度以降の計画的な改修に繋がります。



(款) 10 教育費	(項) 2 小学校費	(目) 1 学校管理費
所 属	教育委員会事務局 教育総務課	Tel.0577-73-7493